

観光
振興課

風情ある古民家をリノベーション

古民家宿泊施設がオープン



上谷町の不老仙

8月29日、市と観光地域づくりに係る包括連携協定を締結している瀬戸内ブランドコーポレーションが、上谷コミュニティセンターで、市内の古民家をリノベーションした古民家宿泊施設の完成披露会を行いました。

完成したのは、比和町にある築250年の「長者屋」と上谷町にある築100年以上の「不老仙」の2棟です。いずれも田園風景の中に立つ古民家で、縁側や土間など伝統家屋の趣を残しつつ、ホテルのような快適さが共存する独自の空間にリノベーションされており、外国人観光客でも快適に過ごせるよう工夫されています。

この宿泊施設は、9月1日から1棟丸ごとの貸し出しが行われています。

高齢者
福祉課

市内各地域の取り組みを学ぶ

生活支援体制整備事業実践報告会

8月31日、口和自治振興センターで、生活支援体制整備事業実践報告会「ささやかだけど、キラッと輝く地域の取り組み」を開催しました。

生活支援体制整備事業は、安心して暮らし続けることができる地域をつくるため、地域のつながりを生かし、見守り合いや支え合い、集まりの場づくりなどを、地域住民が自らの手で進める事業です。

各地域で取り組んでいることを報告し、学び合う場として、昨年度から報告会を開催しています。今回は、新坂自治振興区、高自治振興区、口和自治振興区が実践事例を発表しました。また、各地域の取り組みの中で作られた、配達・訪問サービスの紹介する「便利帳」や、報告ポスターなどが展示されました。

参加者からは、「発表者が生き生きと生きている」「地に足の着いた取り組みの報告だった」「小さな活動を少しずつ積み重ねる大切さに気付いた」といった感想が寄せられました。



展示コーナーの様子



質疑応答が活発に行われた

企画課

30周年記念事業に向けた協議

庄原市友好訪問団 綿陽市を訪問



科学技術博覧会を見学する訪問団一行



綿陽市の元方市長を表敬訪問する本山市長

9月4日から8日まで、木山耕三市長をはじめとする友好訪問団6人が、中国四川省の綿陽市を訪問しました。

庄原市と綿陽市は、平成2年に「経済技術友好協力協定」を締結し、以後29年にわたり、友好交流を継続しています。

訪問団は5日に開催された、第7回科学技術都市国際科学技術博覧会に出席し、中国の最新技術などの展示を見学しました。

その後、綿陽市人民政府を表敬訪問し、本山市長は「これまで培ってきた両市の信頼関係は何ものにも代え難い貴重な財産。今後さまざまな分野で友好関係を発展させ、新たな歴史づくりに取り組んでいきたい」と挨拶し、綿陽市の元方市長からも「庄原市は綿陽市の友好都市の中で最も古くから交流している。これからも、さらに両市の交流を深めていきたい」と歓迎の言葉がありました。

令和2年には協定締結から30年を迎えるため、記念行事の実施について協議し、両市長が議定書に調印しました。